〔第三種郵便物認可〕　昭和七年九月二十一日　磐城新聞　〔水曜日〕　第三千五百三十六號　（一）

夕刊
九月二十日發行
定價一ケ月金六拾錢　郵税共金五拾錢
廣告料金　一段金壹拾圓　二段以下一行金壹拾錢
發行所　磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

新聞及新聞人

白木英尾

○先輩M、S君

先輩M、S君が時事新報の記者となつた事を、同君の『K氏の恩惠』で初めて知つた。未だ親しく面識の無い間柄ではあるが、君が立命處を得たものとして喜ぶと共に私は百年の知友に會つた感がある。

×

磐中では確か二年か三年迄つてゐた筈であるから、私が校友會誌上で名を知つてから數年は經つてゐる。然し其の後、私は三田新聞に居つて『早稲田には磐中出身でS君が矢はり新聞をやつて居ると聞いた。これが私の『新聞人M、S君』の名を心象した最初である。その時は、同郷同窓の先輩が同じく新聞學を修めつゝあることを知つて非常に力強いものを見出したのであつた。

當時、私の三田新聞の方には不思議に本縣人が根を張つてゐて、今の平松幹夫君などは三田の名編輯長と言はれた時代である。平松君は言ふまでもなく平町五丁目の人で慶大醫學部卒業後、雜誌『三田文學』の編輯者でもあつた。それから曾我平第一校長の令甥に當る秋山八郎君なども主腦部と言つた格で、何でも私を加へて五人位居つたらう。福島大いに振ふといつた觀があつた。これらの人々の間には自然早稲田側のS君の噂も出ることがあつた。早稲田の新聞が屆いていつもの惡るく口や批評が出る毎に、私は何だかS君自身が惡く言はれてゐる樣な落着きない氣持で隅の方に默て聞いて居たものである。

S君が早稲田大學新聞を牛耳つてゐた頃は、丁度思々事件が惹起した時期で、面識の無い間柄ではあるが、君が立命處を得たものとして喜ぶと共に私は百年の知友に會つた感がある。

×

S君が早稲田大學新聞を牛耳つてゐた頃は、丁度思々事件が惹起した時期で、面識の無い間柄ではあるが、君が立命處を得たものとして喜ぶと共に私は百年の知友に會つた感がある。

×

磐中では確か二年か三年迄つてゐた筈であるから、私が校友會誌上で名を知つてから數年は經つてゐる。然し其の後、私は三田新聞に居つて『早稲田には磐中出身でS君が矢はり新聞をやつて居ると聞いた。これが私の『新聞人M、S君』の名を心象した最初である。その時は、同郷同窓の先輩が同じく新聞學を修めつゝあることを知つて非常に力強いものを見出したのであつた。

當時、私の三田新聞の方には不思議に本縣人が根を張つてゐて、今の平松幹夫君などは三田の名編輯長と言はれた時代である。平松君は言ふまでもなく平町五丁目の人で慶大醫學部卒業後、雜誌『三田文學』の編輯者でもあつた。それから曾我平第一校長の令甥に當る秋山八郎君なども主腦部と言つた格で、何でも私を加へて五人位居つたらう。福島大いに振ふといつた觀があつた。これらの人々の間には自然早稲田側のS君の噂も出ることがあつた。早稲田の新聞が屆いていつもの惡るく口や批評が出る毎に、私は何だかS君自身が惡く言はれてゐる樣な落着きない氣持で隅の方に默て聞いて居たものである。

時代警語

○心眼を開くべし……（ジェアミーフーラー）

人には各自に肉眼を以て居ると同樣に必ず心眼と云ふものを有つてゐるのである、けれども肉眼の視力の程度と云ふものは萬人殆ど一樣であるが心眼の方は明かに視得る人もあるが未明的の人もある……

りに君の健在を喜んだことがあつた。時事新報社へは塾の關係で交詢社などと同じく私も始終出向いたものであるが、S君が今度その記者として平町に居る事は實に色々な意味からペンをとらずに居られない。

×

新聞の地方版に對する君の抱負もあるだらう。新聞人の生活の歡びは新聞人のみが知るのだ。私などは今でも忘れ兼ねて新聞に關する書物は出來るだけ多く讀む。日常の新聞を見ても一般讀者と觀點が異ふ學を捨てゝ故家へ歸つたゝかも知れないがこの氣持は君の新聞學會内におけどうしても捨てられない。

磐城歌壇

小山田滋選

磯上六花

○地下たびの跡鮮に殘しつつ誰ぞ行きにけん雪の山路

○家根越しに工場のけむり黑々と朝燒空に立ち上り居り

○思ひ出の森の小路を今日行けば夏草深く道はかくせる

高木直吉

○なきがらは焰を上げて燃えにけり白砂の上にひたひた燃えにけり

○しん〳〵どさ霧しみ降る此の夕べひたひた燃ゆる火にうから寄りそふ

○夜をこめて燃ゆる焰の赤ければふりかへりつゝ歸り來にけり

る思想的の立場や行動に就いてまでは知らないでしまつたが磐中時代の君を知る私から推測すれば、其の間君は新聞研究の一學徒として穩健な學究的態度を捨てなかつたらうと思ふ（間違つたらごめんなさい）

その後暫らく君の名に接する折がなくてゐたが、いつ頃か時事新報の學窓欄に早稲田關係の通信をなしてゐるとか傳へ聞いて久しぶ

今、新らしく齊藤君を迎へて在平の記者團に私の畏敬する人が一人殖えたことは非常に嬉しい。希くは只健康である。そして君が矢はり依然の通り新聞學研究の一學徒として終始するの信念とプライドを矜持するやうに望んでやまない。

戀人を待つ心

（2）

野村進

仇じき友よ　蹄れ！とく蹄れ
來れ戀人早や來れ
忘勿草の心をもて
幾世を誓ふ心を持ちて
汝とば待つ我が許に
戀人來れ走りて來れ
私きくちびるふるはせひらき
ホホに笑び保せて

物云ふヒトミをパッチリ開き
戀した心はやさしく　しつつ
暗み夜半をば物とせで
涼しく鳴きし虫如く
戀の歌をば唄ひつゝ
戀人來れ　とく來れ

社會の今日

○

△石田三成捕へらる（慶長五）△佛國共和制を布告す（一、七）△大利根鐵橋竣功（昭和五）△府縣會議員選擧開始△關東方面微震死傷者百六十餘名△我軍吉林を占據す△支那側國際聯盟に日支衝突事件の調停を求む△英國金本位制停止聲明（同六）

9月21日

散文の提唱ほか

三澤木貞夫

（3）

母上が艶なき髪を梳き給ふみ手の細りにかげる秋の日　中村けぬり

更けまさる銀河明りや虫の原　野風呂

ギヤング、ヒットラーをプロレタリアは知らない譯ではないんだ。鳶色のズロースを必要とはしない。美澤唐木、論理意識をハツキリさせろ。美澤が人生云々と言ふ、しかし近代社會に於いて人生一般は問題とはならないし、まだ問題とすることは無意味であるばかりでなく有害な誤謬である。それにしても、呂律の廻はらないトンデモない、俳句和歌の吾ゐいどころから蝸牛の家のローマンスが內容であるところの詩が流行りで而かもノサバル磐城文壇で！

揚齊は其手に縋つたまゝ少頃考へてゐたが

『ア、モシ、格さま、それ程までに濟まぬ〳〵とおつしやれなら、何と物は相談此の爺のお願みを聞いては下さらぬか、そうして此孫鹿で念佛は禁物、鶴亀〳〵私の顏を立てゝ下さるなら、もう何も言分はなし、滿圓く納まると申すものでござりまする』

と言ひ出した

『そりや身共に……お詫びの爲とあらば何なりともお引受け申す、シテ其のお願みとは』

『外でもござりませぬ、此次第もござらぬ、さ放して背の語らひさぞ〳〵夢ない武士の一分をお立て下されと言ひ出した

『それでは得心下さるか、ヤレ〳〵まあ嬉しいことぢや、孫奴も草葉の蔭でどんなにか、ゆぶことでござりまする』

とホロリと雫

『ア、モシ、格さま、それ程までに濟まぬ〳〵とおつしやれなら、何と物は相談此の爺のお願みを聞いては下さらぬか、そうして此孫鹿で念佛は禁物、鶴亀〳〵私の顏を立てゝ下さるなら、もう何も言分はなし、滿圓く納まると申すものでござりまする』

揚齊は立揚つていそ〳〵と準備に取りかゝつた。

揚齊老人は先づ小机を取出して上にかたみの品を乘せ、それから平生信仰する春日明神を隱居所に祀つて其の神棚から神酒のかたみの品を孫のお吉と徳太を取下ろして在合せた杯と一緒に二人の前へ持つて來た。

『さあ出來ました伴夫婦も此處へ呼んで共々に悅ばせてやりたいのでござりまする』

△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△六、〇〇（子供の時間）童話（チビのなさけ）粟津勘
△六、二〇A　コドモの新聞
△六、二五A　英語講座　初級編　等科岡倉由三郎
△六、五五A　カレント、トピックス　ハロルド、パーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象　生繭相場
△七、三〇B　講演
△八、〇〇A　獨唱とヴアイオリン獨奏　船橋榮吉
△八、五〇A　連續講談（天保六花仙の內くらやみの丑松）神田伯龍
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象生繭相場

講談　お蘭陀お蝶

（138）

波邊默禪作
布施長春畫

『いゝ〳〵何とおつしやつても大事なあなたに、い、夫死をたさせ申すことはなりませぬ』

『犬死ではない、義の爲め捨てる命でござる、格之助割腹に及ばば最早其許に隔心もござるまい、何卒父上の身をお庇ひ下さる樣只それのみ打入てお願み申す』

『いゝえとんでもない、先刻あの樣に申したのは、ホンの口惜紛れ、こ、此の隱居の肚の底は微塵も曇りはござりませぬ、何で本心からお斷り申しませう、た二人共、此の身に替えてお詫ひ申しまする』

『と承れば猶のこと、面目躍つた、と是迄一切沈默枯木の樣に端座して二人の爲事露見の基まあ〳〵明日迄すがまゝに任せてゐた平八郎は

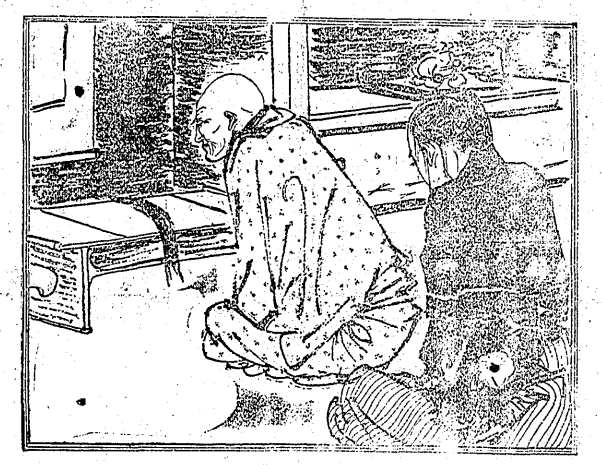
『うむ、こりやよい思案ぢ』

と、扇で掌を打つて

『格之助承引いたせ、切めてお吉どのに對する罪滅ぼし、何よりも追善供養と相成るであらう、もうよい刄を納めい』

格之助ハツと手を下ろし

『然らば父の仰せに從ひお吉どのとの祝言をいたすでござりまする、どの途長くはあらぬ命冥途に於ての妹



『コレお吉や、よく聞け、生れて十八年其の間、荒い波にもあてずして大事にかけて育て上げた親や爺の心はの早く初孫の顏でも見せて貰ふて一家睦まじく暮したいばつかり、その願も水の泡此の爺を後に殘して先に立つとは、な、何の事ぢやそれに人並に疊の上で死ぬことが淺間しいのたれ死をして逆さまに其の骨を拾はせる、そ、そなたの樣な不孝者は又と世間にはありはしまい、エ、ふ、ふ、不埒者奴！』

ラヂオ

……二十一日〔水曜〕……

仙臺　JOHK

△前六、〇〇A　ラヂオ體操
△六、三〇　佛教講座（原人論）梅檀中學々長櫻井肇山
△七、〇〇〇　彼岸會法要
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理献立（茹玉子のソース和へ）中村光三
日用品値段
△一〇、三〇A　家庭講座
△正午　A　時報　氣象
△後〇、〇五B　俚謠（一、保呂波茂天唄　二、草刈唄　三、酵摺唄　四、萩取唄　五、南部外山節　六、秋田追分）
△〇、四〇A　ニュース
△二、〇〇A　家庭大學講座（子供の心、心の芽生）東大助教授青木誠四郎

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
味噌醬油　たひら正宗　鰹節　食料品
山崎合名會社
福島縣、平町
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

移轉披露
陳者弊館儀お蔭樣にて日增しに繁榮に赴き候處從來の館にては如何とも手狹を感じ何かにつけて不便尠からざりし故今約肩書の所（團体事務所東隣）に移轉仕り一層館內を改良し皆々樣の御期待に副ふ樣廉價、親切、迅速を旨とし永年の御高庇に酬ゆる覺悟に有之候間何卒舊に倍し御用命被下度候先は移轉御知せ申上候。
昭和七年九月　敬具
福島縣警察部御用達　美術引伸　鐵道省指定人像專門
齊藤寫眞館
齊藤德治

淋藥界の最高權威
無効返金（二日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す）
淋病特効藥
一週間……赤箱—金五圓　黑箱—金參圓
世界の名湯別府溫泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渴に奇績的効果あり、どんな頑固な痳疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府溫泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なまず、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
平町三丁目北裏通り
代理店　渡邊いと
（特約店募集）

夜診
胃腸　內科　十二指腸虫病　專門
梅毒　淋病　皮膚病　婦人病　專門
內科部　外科部
松村性病胃腸科醫院
（平町南町電一〇七番）
療間

ガス入電球ノ値下グニ
次グ又値下ゲ
十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三　大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番

吉田眼科病院
平町紺屋町

平町六丁目
木村醫院
電話　三〇九番

平町新川町
木村病院
電話　一六四番

秋の帽子と毛布
旅行用トランク・ステツキ　ハンドバツグ・お化粧用品
廉價な優秀品
秋向お子樣の服裝用品種々豐富に取揃へました
正　中野洋品店
平二町目・電五十三番

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番
（入院隨意）

內科、小兒科、花柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

宿願の漁港を實現し けふ歡天喜地の四倉町
修築起工式で空前の賑ひ

從來血みどろな苦鬪を續け町として空前の大犧牲を拂つた結果愈々四十四萬圓の工費を投じ今明兩年度の繼續事業として起工する事となつた四倉漁港修築起工式は今二十日午前十時から一碧の晴空に潮騷いもなごやかな同町字新町海岸に於て內務大臣代理寺田事務官、赤木知事、土肥土木、引田地方兩課長以下縣官、農林省大友技師、比佐、鈴木、佐藤の三代議士、縣會議員各町村長、其他地方有志四百五十名參列、修祓式後赤木知事は漁船で沖合へ出で基石を沈下し次で知事の式辭內務、農林兩大臣並に來賓の祝詞あつて式を閉ち、それより祝賀會に移り園遊會、餘興等で同地空前の賑ひを呈した、多數祝辭中鈴木代議士の分次の如し

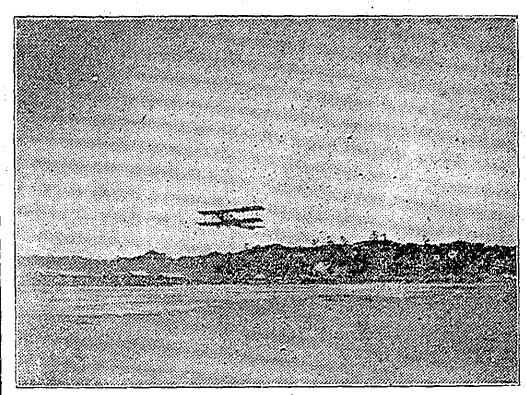
祝詞

多年の懸案全く解決し茲に本日を以て四倉漁港修築起工の式典を擧げらるり、今年度更に四十四萬圓何等の慶幸事ぞや、惟ふ內國庫補助二十三萬圓、縣に四面環海、世界三大漁補助十一萬圓、地元負擔十場の首位を占むる我國の一萬圓、これを町が六萬圓水產業は近時人口食糧問題の解決上農村の振興と共に所謂水產立國の觀點より只管その發展向上を企圖されつつあり、而して之が操業の圓滑を期する爲、漁船漁民の遭難を防止すると同時に漁獲物の商品化を速かならしめ更に漁船の物資供給乃至積み卸しの簡便迅速を圖る等種々なる便益に資せんとする四倉漁港の修築は各方面の入荷と背面物資を吞吐する將來の小名濱商港と相呼應し亦地方の福祉開拓上當面の急務として夙くより識者間に論ぜられ、全町擧つて最大の犧牲を拂ひ爾來幾多の波瀾曲折を經たる結果終に之れが實現を見たるものにして其の間町の苦鬪を知悉し、微力尙ほ之が爲斡旋措かざりし餘たるもの顧みて一層欣抃の情無くんば非ざるなり茲に素懷を叙べて祝詞となす

衆議院議員　鈴木喜三郎

四倉漁港は昭和五年十一月縣の指定漁港と決定、六年度豫算に三十七萬三千圓を計上したが緊縮の犧牲となり擔する事に決定、茲に漸く經まつたものである。工事は現在の防波堤百十二間を三尺高め之に北防波堤三百三十米と南防波堤百五米を新設し內港を六千坪外港を三千坪の面積をとり大漁船と雖も自由に出入せしめ得る優秀且つ完全な漁港となられるに至つたので關係者は今後引續き當局に猛運動を試みる事になつた

寫眞は四倉港遠望



なすものであると共に從來入港に際し迂回して危險地帶を避けてゐたものを悠々入港せしむるものである。

（寫眞は四倉港遠望）

知事の視察で
平商校縣移管促進
有利に導くものとて
關係者猛運動を起す

赤木知事は昨十九日午後四時取する處あつたが同校が縣移管の問題を控へてゐる今日知事の視察は今後に於て有利に導かれるものと見志の案內で平商業學校を視察し學校の設備其他に就て

滿洲行
藤田中尉
第七十七信

◇南に思ふ　◇洮南は四洮鐵路の終出多し

◇參謀本部附　參謀大尉中村震太郎氏は或重大任務を帶びて昨年五月頃こゝまで辿りついた、而してこゝの某日本人經營のさゝやかな宿屋に一夜を明かして最後の計劃を立て旅裝をとゝのへた

◇あくる朝道　案內の井杉延太郎氏等と連れ立つての毛のよだつ想ひがしてこの奧地に入つたのだが其の虐殺されたそのソーコンェ後沓として消息がなかつたのみならず歸るべき日が來ても一行は到々歸らなかつ

中村大尉は遂に慘殺せんとする四倉漁港の修築は各方面の入荷と背面物資を吞吐する將來の小名濱商港と相呼應し亦地方の福祉開拓上當面の急務として夙くより識者間に論ぜられ、全町擧つて最大の犧牲を拂ひ爾來幾多の波瀾曲折を經たる結果終に之れが實現を見たるものにして其の間町の苦鬪を知悉し、微力尙ほ之が爲斡旋措かざりし餘たるもの顧みて一層欣抃のだ。

中村大尉は遂に慘殺せんとする支那屯懸軍のためにならざるを得なかつたのであから一萬は持つて居る筈だのが旅長馬占山だ。

◇火事泥式に　チチハルの省城を占據して臨時主席で大きな顏をしたのは馬占山なのである、猿犬相容れざるこの二人が攻守處を換へて干戈に相見えねばならなかつたのは理の當然であらう。張海鵬は遂に兵を擁して進めた馬軍は大興附近一帶に自然の陣地を布きその橋梁を爆破し、燒却して軍勢を阻止した。

◇南鎭守使　とか蒙邊主席萬福麟は學良に從つて張海鵬將軍の秘かに時勢北平に行き留守をしてゐた平生萬福麟の治下に心快かざるこの二人が攻守處を換へて干戈に相見えねばならなかつたのは理の當然であらう。張海鵬は遂に兵を擁して進めた馬軍は大興附近一帶に自然の陣地を布きその橋梁を爆破し、燒却して軍勢を阻止した。

眼りをとつたのがこのため南のもこゝなら南である、彼はらざりし張海鵬は折柄の獨立勢に浮かされ好機到れりとなし、省府明渡しを武力張景惠等と馬賊時代の義兄弟である。日露戰爭當時かに訴へてもと强硬に迫つた

◇事變當時黑　龍江省の省城を占據して臨時主席と思ふ

◇私は中村大　尉最後の推移をつけねらつて居た

◇あくる朝道　案內の井だつたなと思ひ起した時身

◇參謀本部附　參謀大尉中村震太郎氏は或重大任務を帶びて昨年五月頃こゝまで辿りついた、而してこゝの某日本人經營のさゝやかな宿屋に一夜を明かして最後の計劃を立て旅裝をとゝのへた

◇あくる朝道　案內の井杉延太郎氏等と連れ立つての毛のよだつ想ひがしてこの奧地に入つたのだが其の虐殺されたそのソーコンェ後沓として消息がなかつたのみならず歸るべき日が來ても一行は到々歸らなかつ

サンマの走り
磐城丸大漁して
昨夕小名濱に歸港
初の水揚げに各濱活氣を呈す

本縣水產試驗船磐城丸は金華山沖に於てサンマ四萬本を漁獲昨十九日小名濱に歸港したが初の水揚げに各濱は俄かに活氣を呈して來た

磐中校友會主催で
第一回三郡下籠球大會開催

來月九日磐中校庭に

磐中校友會主催濱三郡小學を豫想される因に參加は一校第一回籠球大會は來月九校二チームで締切今月末迄日午前九時から磐中グラウンドに於て行ふ事に決定したので今二十日三郡下小學校に通知を發したが參加は

曾我校長陞敍　平第一小學校長從七位勳七等曾

晩秋繭市況　四倉繭市場十九日—白繭白三十貫、高値四圓三十一錢、安値三圓六十錢、買馴三圓九十五錢

赤木知事
平署巡閲

平町上水道擴張工事竣工式に臨んで昨夜住吉屋本店に一泊した赤木知事は今二十日午前九時平署に至り同署を巡閲の後自動車で四倉起工式に臨んだ

我直治氏は八月十五日附で正七位に叙せられた

平町の市街戰
二十二日に擧行
假裝甲自動車も活躍し
滿洲事變を偲ぶ

既報—滿洲事變一周年を記念して十八日に行はれる管內小學校敎員野球大會は郡內小學校敎員野球大會は藤田）泉（鈴木、佐藤）が優勝候補と目されてゐる

行ふが參加校は勿來、四倉の六校の外更に二三校の申込みある見込で盛會を豫想されてゐる、尙昨年の優勝カップ保持チームは四倉（パッテリー森、伊藤）で今年は同校の外平第一（井上

敎員の野球試合
廿三日開催

郡內小學校敎員野球大會は

一、平商兩校グラウンドで

既報—滿洲事變一周年を記念して十八日に行はれる管內小學校敎員野球大會は郡內小學校敎員野球大會は藤田）泉（鈴木、佐藤）が優勝候補と目されてゐる

一、平商兩校グラウンドで

行ふが參加校は勿來、四倉の六校の外更に二三校の申込みある見込で盛會を豫想されてゐる、尙昨年の優勝カップ保持チームは四倉（パッテリー森、伊藤）で今年は同校の外平第一（井上

假裝甲自動車も活躍し
滿洲事變を偲ぶ

既報—滿洲事變一周年を記念して十八日に行はれる管內小學校敎員野球大會は郡內小學校敎員野球大會は藤田）泉（鈴木、佐藤）が優勝候補と目されてゐる

一、平商兩校グラウンドで

行ふが參加校は勿來、四倉の六校の外更に二三校の申込みある見込で盛會を豫想されてゐる、尙昨年の優勝カップ保持チームは四倉（パッテリー森、伊藤）で今年は同校の外平第一（井上

實る秋
村農チツケス〔五〕

薄墨色の雲が足早やに北へ〜と走つて行く、雷も映へ、肌に泌む程の秋風つた樣だ、夕陽が御愛嬌に雲間から一寸光を投げれば降り續いた雨に洗はれた稻どうやら海の方へ移つてい果もなく靡き渡る

▽　△

『よくめえ日降りやがんで心べえしてだが上つてよ

弓の腰を伸して
隱されぬ喜び
カンカン帽の案山子に
黃金の波は打つ

の面はパッと濃い山吹色に

▽　△

問『隨分實入りが良い樣ですね』

答『えゝ此の分で行けば豐

う御座えやした

失業救濟事業
來月早々から着手
救はれる人員七萬人

△官行造林五千圓—川前、赤井、內郷、△林道千圓—川前、永戸　△護岸植採一萬九千圓—豊間、高久、夏井、草野、大浦、四倉　△臨時低利資金三千三百圓—大野、上小川、川前、三坂、永戸　△砂防一萬圓—上小川、永戸、川前

平營林署の
失業救濟事業

平營林署に於ける管內農山漁村救濟事業は來月早々から着手すべく目下準備を急いで居るが事業費は大体四萬圓で失業者救濟を主眼としてゐるだけ大半は人件費にあてがはれてあり延人員にして約七萬人を救濟する大事業で工事は左の如し

腐朽の熊野神社
愈々改築に決定
極めてモダンなものに
鐵北の守護神社漸く生れ變る

平町仲間町鎭座熊野神社は腐朽甚だしき爲かねてより改築を叫ばれてゐたが此の程區の組長會議の結果總工費一千五百圓をもつて年內に

平町仲間町鎭座熊野神社は腐朽甚だしき爲かねてより改築を叫ばれてゐたが此の程區の組長會議の結果總工費一千五百圓をもつて年內に改修する事に決定を見た費用は區民からの寄附で不足の場合は隣接區並に町內

妻女の落磐壓死に
五千圓の損害要求
廿六日平支部で開廷

磐崎村上湯長谷住居坑夫齊藤宇佐治妻ナミイが昨年三月十一日小野田炭鑛の後山夫として從事中落磐の爲即死したに就き夫宇佐治から代理として磐城炭鑛株式會社を相手どり提起した五千圓の損害賠償請求事件の口

大野の殺人（未遂）犯人
重男（二十七）に懲役五年
檢事の求刑より重く

既報—大野村吉田重男（二七）は去月二日平支部で檢事の求刑より重く懲役五年に處する旨の判決あつた

判決に不服
コソ泥控訴

當時住所不定茨城縣多賀郡生れ吉田正元（二）は去月二十五日湯本町字辰ノ口白石方から八圓在中の蟇口を窃取した外三件の窃盜を働き平區に於て二年の懲役を言渡されたが今二十日不服として控訴した

痰壺を備へず

町新町飲食店中野豊重（二六）は食堂に痰壺を備へなかつた爲結核豫防違反として平區から二十日略式で科料十圓を言渡された

加藤主事補轉勤

駐在產業主事補加藤敬藏氏は今回擔當區の變更を命ぜられて信、達二郡駐在となり二十五日午前八時家族同伴で赴任する

惡太郎捕はる

坂居住鈴木重太郎（二八）假名—は昨十九日午後十時頃平町三丁目大黑屋洋品店の店頭からメリヤスシャツ外數點價格三圓餘を窃取して逃走せんとしたのを平署員に捕押へられた

強姦事件實地檢証

豫審判事、市川檢事は勿來町の強姦事件再度の實地檢証のため廿一日現場へ出張

投槍

投書歡迎

◇近來の奇怪事

◇九月十五日八幡樣の御祭での休校を利用して平小學校某先生材木町の或兒童の家に於て飲酒四時間に及び遂に興に乘つて放歌高唱して附近の人々を呆然たらしめた事は近來の奇怪事である

◇殊に主人の留守中若き人妻のもてなしであつたことと誠に餘情ありではあるまいか、總て競爭のせち辛き世の中だ、子供の成績を肯目的に希ふ母親と其の鍵を把握せる受持先生である程度を過ぎた御馳走はどんな味か

◇梨下に冠瓜田に沓であるる若き先生よ敎鞭を執る身で兒童の前ももつと考えて呉れ。（材木町憤慨生）

◇殊に主人の留守中若き人妻のもてなしであつたことと誠に餘情ありではあるまいか、總て競爭のせち辛き世の中だ、子供の成績を肯目的に希ふ母親と其の鍵を把握せる受持先生である程度を過ぎた御馳走はどんな味か

◇梨下に冠瓜田に沓であるる若き先生よ敎鞭を執る身で兒童の前ももつと考えて呉れ。（材木町憤慨生）

この通りで……』

年だが……何分お天氣がする

▲一白の人　萬事調ひ難き日內外の親交を旨とすれば吉▲二黑の人　蓄財に事か企て溫柔なれば吉▲三碧の人　半途に故障起るもせい實に處理すれば功成る▲四綠の人　諸事調達する得べき旺運の日音信喜あり▲五黃の人　ぎよく日昇天の勢を加ふるも思慮分別を廻らせ▲六白の人　附和雷同して過ちを生ずんとする日病注意▲七赤の人　意外の邊より手造ひとなり落膽憂慮する日▲八白の人　力りやうに應じ漸進すれば希望達成すべき吉日▲九紫の人　突進するのみにて後ろ顧みされば失策あり

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

新　舊水曜
九月八日
乙酉
佛滅
建
十二月一日
宿　鞍

産婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井阪醫院
（元合津醫院跡）
平町田町
電話五五九番

電話新設
二九八番
右新設致しましたから御利用願上ます。
有隣生命保險株式會社平城北代理店
東洋白土株式會社常磐一手販賣部
佐々木龍若
平町四軒町一八

子供百日せき
「專門藥」！
のまずになをる奇妙藥
ためしにはつて御覽なさい。
たしかになります……
家傳藥
神効散（七日分）（金六十五錢）
平町月見町
中川木炭店

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關內藥局
電話四〇番